



所役場 印刷所 青森民友新聞社

勤務時間 (四月一日より) 出勤時刻 午前八時三十分 退勤時刻 午後五時 但し土曜日は午後三時三十分

あれか知らないことがこんなにあつた

# 重視せよ金木事件の核心

## デマ戦術に町政の誠実を守れ

「あれから一年」 週刊雑誌までがとりあげた味な程の静けさを保ち乍ら金木町長選挙の開票事件はレンズの焦点は秋田高等裁判所にある。

拠に津島派の無暴を罵つた警察は徒らに津島派の幹部を追跡し世論を煽つて余りあつた。「何も悪いことをしなかつたら逃げる必要がないんじやないか」第三者の常識は当然この言葉となり、逮捕の令状をくぐつて二、三の幹部は長く所在をくらましなかつた。かえつて津島派を不利な与論に追い込んだ凶に乗つて芝居がかつた神社前の報告演説などは動かし易い大衆の同情を買つた。充分な演技だつた。某県議なども次期の大量得票を計算に入れてブロードを押して立てて町をねり歩いたのはこの頃である。

一方風のさなかに就任し、偽と罵られ、明智の三日天下かと嘲笑された津島町長は町政再建に猪突邁進した。除根策で延期延期の川倉小学校は着工となり、更に同じケースの嘉瀬保育所も一気に着工、或は二十一号、二十二号台風による農地災害による復旧やら、蒔田小学校の水害による復旧やら。

併し裁判は月に二度、或は証人調べ等数えると三度と異例の回数をもつて続けられた。このことは何故金木町が貧乏したか、このことを中心に金木だよりが報告する時にゆづつ一本筋に戻りましょう。

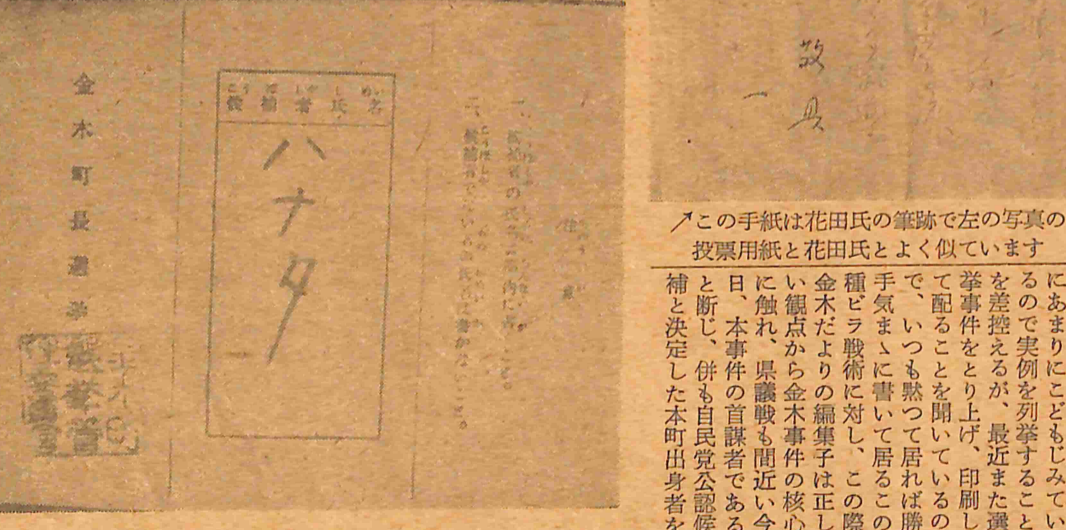
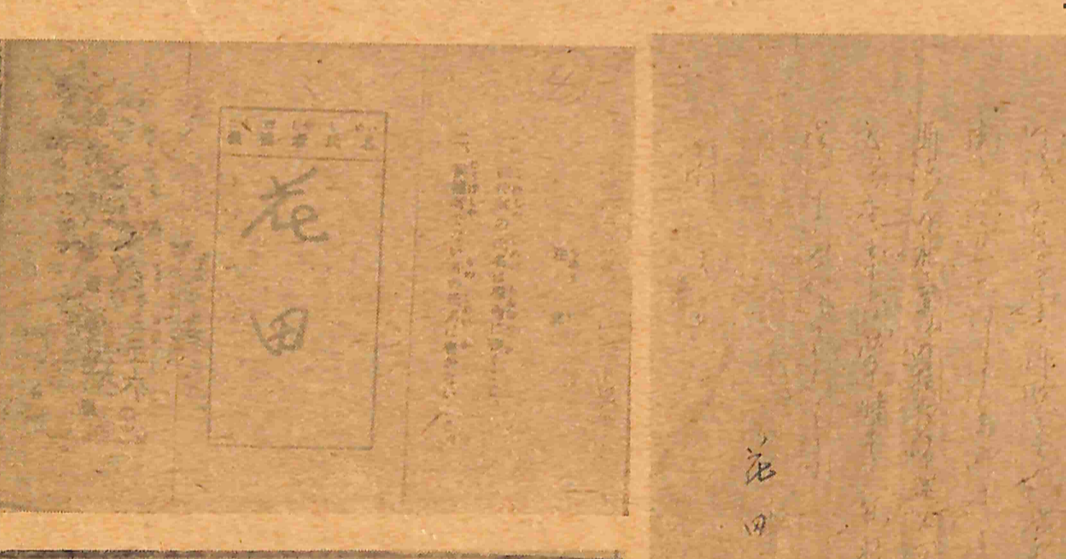
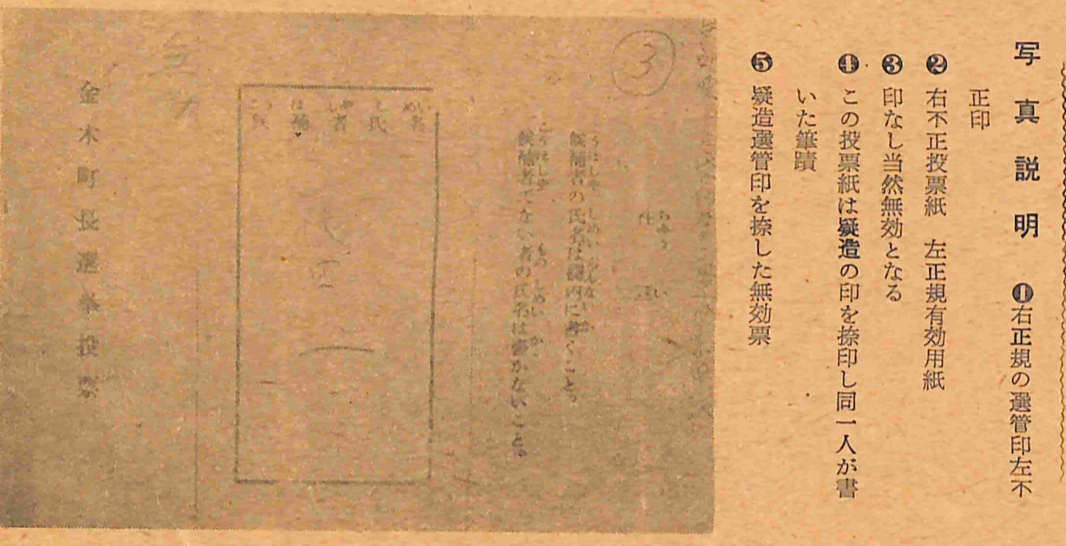
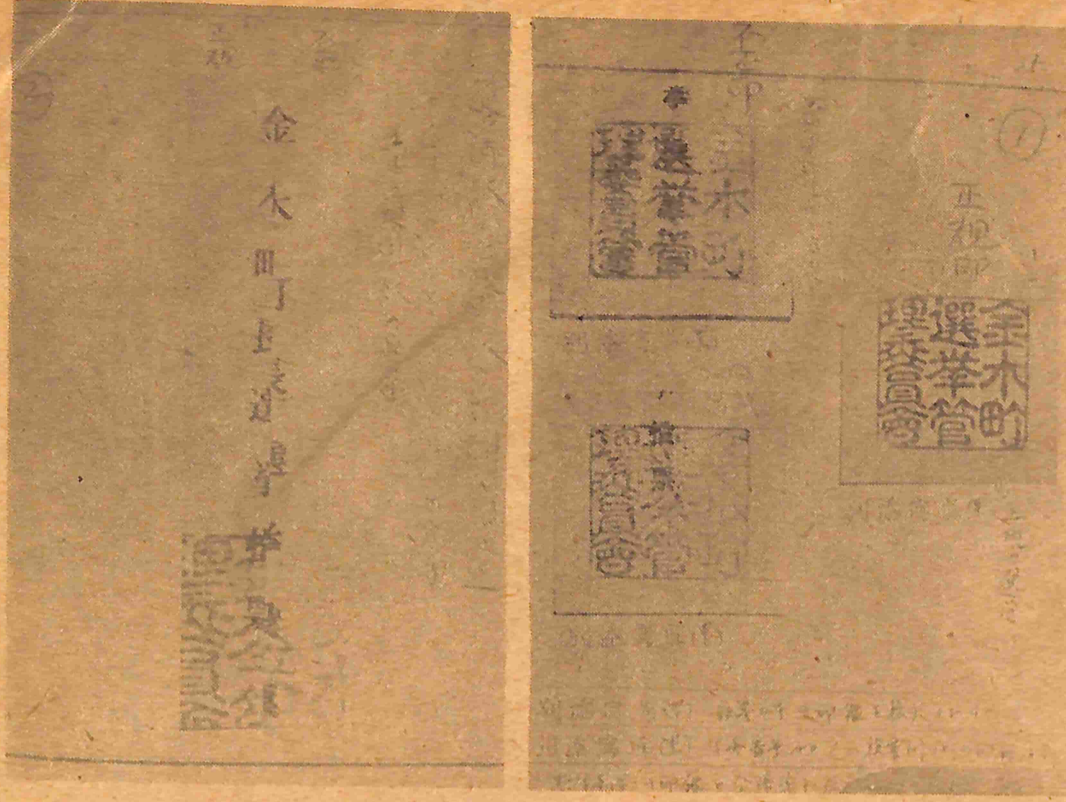
昭和三十四年の新しい年がやつてくると、隠忍を続け来た津島派が、慎重に慎重を重ねて来た偽造投票用紙、或は偽造印鑑、同一筆跡等たくさんある。新聞に書かれたこともあつた。

他郡の、他県の世論を高めて己が有利を図ることは認めても、先ず自らの反省なくして自治の正しい姿がどこにあるだろうか。

主題に再び昨年の町長選挙を不正事件と書き立て裁判記録のない司法警察官の供述書を羅列しているが、當時司法警察官がこの事件を取扱うにどんな手を使ったか、司法警察を唯一の足がかりに行われた宣伝は、その後一つ一つ崩されて今や法廷に於ける各証人、被告の供述は自己に不利と見るや、不起訴処分を受けた選挙長西村啓次郎を起訴すべしと議決した検察審査会を基礎にまたまた県議会の妨害宣伝にまては、あくまで事の正、不正を広報が詳しく調査し、報道の使命を達成し、もつて全町民に公正な判断を願うことが今後のあり方と信ずる。

### 写真説明

- ① 右正規の選管印左不正印
- ② 右不正投票紙 左正規有効用紙
- ③ 印なし当然無効となる
- ④ この投票紙は疑念の印を捺印し同一人が書いた筆蹟
- ⑤ 疑念選管印を捺した無効票



この手紙は花田氏の筆跡で左の写真の投票用紙と花田氏とよく似ています

御成婚は毎戸記念手拭配付  
記念植樹はみんなで！  
金木町役場

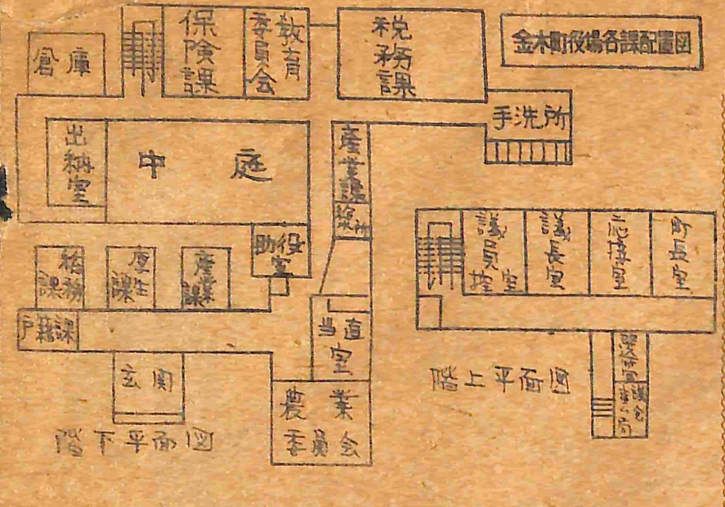
だれが創った政争の町

真実をかくし町民瞞す

無定見の前町政

金木町長選挙が執行されるまでに暗黒独善偽瞞甘言が満ちていた

合併した新金木町は地理的に見ても、東下合併町村のうちで最も理想的な姿の一つであつたが、町長選挙を機に政争の渦は高く、激しく流れた。新しい議会と共に行かれました。...



大巾な人事異動

庁内配置も一部変更

当町は財政再建団体として、経費節約と能率の合理化をはかるため、はやくから役員機構の改正をせまられていた。...

なま、諸君が待つて、投票前夜のた。...

川倉出身のが自宅にハイヤーで帰つたのを津島派の町議に見つたて何故今頃まで事務をやつて居つたかとの問に詰もられ、多くの不審な挙動があつた。...

財政状態の好轉期す

第15回定例議会津島町長挨拶

本日第十五回定例町議会を、次いで財政の確立について、招集いたしましたところ、招集いたしましたところ、...

嘉瀬行政協力委員

四月一日 発令

- 中村原安左衛門 新誠 引藤之助 下昭和町山中武町秋元徳之進 上カ治町平太郎...

お知らせ
△子孫のため
△農地の移動は先づ農業委員へ
△農地の転用は先づ農業委員へ
△農地の転用は先づ農業委員へ

二十八日 組合病院議会 今兵市 西村安次郎 泉谷川倉財産区残務 征義